



No.31

令和3年  
11月30日発行

## [Contents]

- P1.産婦人科のご紹介
- P3.認定看護師のご紹介
- P4.集中ケア認定看護師について  
急性・重症患者看護専門看護師について
- P5.研修医発表会報告  
研修医の発表レポート
- P7.新型コロナウイルスワクチンの  
当院における対応について
- P8.SNS更新中です！  
今号の一枚～表紙写真紹介～  
災害救急指定日
- P9.各科外来診療担当医師表

ジェイコー  
JCHO

# 北海道病院

だより

JCHO北海道病院

# 産婦人科のご紹介



副院長 山田 俊

今回は、産婦人科の診療内容をご紹介いたします。産婦人科の診療範囲は広く、妊娠や出産にかかる「産科」、不妊症などの「生殖・内分泌」、更年期・思春期などの「女性のヘルスケア」、そして、女性特有の疾患を扱う「婦人科」の4つの領域があります。当院では、妊娠・出産から婦人科疾患まで幅広く診療を行っています。以下、領域ごとに診療内容を説明させていただきます。

## 産科

周産期医療センターとして、リスクの高い妊娠や内科疾患合併に対応しています。年間約80～100件の母体搬送を受け入れ、小児科や麻酔科と協力して高度な医療を提供しています。一方で、一般的な「お産」にも力を入れており、産前から、分娩、産後にいたるまで、助産師を中心としたチームが、きめ細やかなケアを行っています。

令和2年には、およそ500件の分娩がありました。コロナが収束し、賑やかな分娩室に戻ることを、スタッフ一同心待ちにしております。

## 生殖・内分泌

近い将来、不妊治療の一部に健康保険が適用される見込みです。引き続き、基礎体温の評価や排卵チェックなどを行います。体外受精や顕微授精などの高度な不妊治療が必要な患者さんは、専門施設へご紹介いたします。妊娠成立後は当院で妊娠・分娩管理を安全に受けることができます。

令和2年には、体外受精や顕微授精によって妊娠された方の分娩が34件ありました。

## 女性のヘルスケア

女性は閉経前になると、卵巣から分泌される女性ホルモンが減少してきます。その結果、のぼせ、ほてり、イライラ、頭痛、肩こり、不眠、うつ症状などの不調が現れます（更年期障害）。症状を和らげるためのさまざまな治療法（ホルモン剤、漢方薬など）がありますのでご相談ください。子宮や膀胱が下がってくる状態（子宮脱、膀胱下垂など）は、より高齢の方に多い疾患であり、手術を要することがありますが、腔内に樹脂製のリングを入れることにより効果的な治療ができることが多いです。思春期の月経異常には、正確な知識と判断に基づき、必要に応じてホルモン治療も行います。

## 婦人科

悪性疾患(がん等)に関しては、早期発見のための検査(細胞診や超音波検査)を行っています。

治療は子宮頸がん0期のみを対象とし、それ以外は責任を持って専門の施設に紹介しています。

子宮筋腫や卵巣嚢腫などの良性疾患には、体に負担が少なく、入院期間も短い内視鏡手術を行っています。早期に社会復帰することが可能です。これについては、担当の山村医師が、次項で説明します。

## 婦人科内視鏡手術について(山村満恵医師より)

婦人科内視鏡手術は古くは1930年代から施行されておりまます。

婦人科腹腔鏡下手術では、腹部を炭酸ガスで膨らませ、風船の中で手術を行うイメージです。

風船の中で手術を行うためにはカメラや手術器具・機械を出し入れする入口が必要となります。その入口を腹壁に留置します。その入口は1cm前後の傷で3~4箇所作られます。傷が小さいため、美容的にも優れており、さらに術後疼痛は圧倒的に軽減します。

当院産婦人科でも、子宮筋腫や良性卵巣腫瘍などに対して腹腔鏡下手術を行っておられます。

何かお困りのことがありましたら是非ご相談ください。

## 対応している産婦人科疾患

最後に当院産婦人科で対応している主な疾患(治療)をお示しします。

**「産科」**正常分娩、流産、早産、異所性妊娠、ハイリスク妊娠(切迫流産、頸管無力症、切迫早産、妊娠高血圧症候群、前置胎盤、双胎、胎児発育不全など)、内科疾患合併妊娠

**「生殖・内分泌」**排卵障害、高プロラクチン血症

**「女性のヘルスケア」**月経異常、更年期障害、子宮脱、HPVワクチン、低用量ピル

**「婦人科」**子宮筋腫、子宮腺筋症、子宮内膜症、子宮ポリープ、卵巣腫瘍、子宮頸がん(0期)、胞状奇胎、子宮留膿腫、クラミジア、淋病、外陰膿瘍カンジダ症

## まとめ

当院産婦人科では、患者さんの安全・安心を何よりも優先して診療を行っています。十分に説明を行い、ご理解いただいた上で治療方針を決定します。

2名の女性医師を含む7名の産婦人科専門医がチームを組み、他科・他部門と連携して、より良い診療を目指します。お気軽にご相談ください。

# 認定看護師のご紹介

当院ではそれぞれの領域の認定看護師や専門看護師が組織横断的に活動し、看護スタッフを強力にサポートしています。看護実践に生かせる院内研修だけでなく、地域の医療機関で働く看護師を対象としたセミナーを定期的に開催するなど、地域全体の看護の質向上にも取り組んでいます。

今号では、集中ケア認定看護師と急性・重症患者看護専門看護師による記事を掲載します。次ページをご確認ください。

## 認定看護管理者 3人

患者さんや家族に質の高いサービスを提供できるよう、組織を改革・発展させる能力を有し、地域全体の医療・看護の質の向上に努めます。

## 皮膚・排泄ケア認定看護師 2人

創傷ケア・ストーマケア・失禁ケアなどのスキンケアや排泄に関するアドバイスなどの専門的知識を提供します。

## 感染管理認定看護師 2人

院内の全ての人を感染から守る役割があります。安全・安心な医療を提供できるよう、多職種と協働し活動しています。

## 新生児集中ケア認定看護師 2人

急性期の新生児に対し、生理学的安定・神経行動学的安定を促進させるため専門的知識を提供しています。

## 集中ケア認定看護師 1人

生命の危機的状態にある患者さんの病態変化をさまざまなモニタリングから予測し、早期介入を図るべくケアを提供します。

## がん性疼痛看護認定看護師 1人

がんによるさまざまな痛みを抱える患者さんの「生活に合わせた疼痛緩和ケア」を検討し、患者さん・家族の支援を行います。

## 緩和ケア認定看護師 1人

がんに伴う全人的なつらさを和らげ、患者さん・家族がその人らしく心地の良い時間を過ごせるよう支援します。

## がん化学療法看護認定看護師 1人

化学療法を受ける患者さんへ療養生活の支援を行い、抗がん剤の安全な投与・取り扱い、副作用に関するケアを提供します。

## 糖尿病看護認定看護師 1人

糖尿病患者さん一人一人に合った生活調整を提案し、患者さんが主体的に療養行動に取り組めるよう支援します。

## 認知症看護認定看護師 1人

認知症の患者さんと家族が抱える問題を全人的に捉え、その人らしい生活が送れるよう専門的なケアを提供します。

## 急性・重症患者看護専門看護師 1人

緊急度や重症度の高い患者さんに対して集中的な看護を提供し、最善の医療が提供されるよう支援しています。



(写真左から) 6階南病棟 塩 綾 6階南病棟 小川 謙

## 集中ケア認定看護師について

6階南病棟 塩 綾

集中ケア認定看護師はICUなどで、生命の危機状態にある患者を対象として重篤化の予防、早期回復のためのリハビリーションなどを実践します。

昨年からのCOVID-19の流行により、重症化した患者さんは人工呼吸器やECMOを装着し治療しています。日本中でそういった生命維持装置を装着した患者がICUに入室して治療を行っており、装置の管理も重要な看護の一つです。ICUなど急性期のスペシャリストと聞くと一見華やかだと思うかもしれませんが、認定看護師の中でも集中ケアは「何でも屋」です。診療科や疾患を問わず急性期であればすべての患者が対象となります。当院も急性期病院としてすべての病棟でさまざまな疾患の患者さんを受け入れています。また、昨年よりHCUが稼働し、循環器内科も再スタートしました。重症患者も多くHCUに入室しています。急性期の患者の合併症が少なく、早期に退院できるよう看護を一緒に考えて実践していきたいと思っています。

急性期の患者もほとんどが高齢者ですが、治療により安静を強いることでADLの低下が著明に起こります。近年、集中治療後症候群(post intensive care syndrome:PICS)といって集中治療室入室中、もしくは退室後の身体障害、精神障害や認知機能の低下が注目されています。重症患者が少しでも身体機能を維持し、精神障害や認知機能の障害が少なくなるよう総合的にアセスメントしながら、早期離床や睡眠の管理などPICS予防の看護を進めていきたいと思っています。

## 急性・重症患者看護専門 看護師について

6階南病棟 小川 謙

6階南病棟で勤務している小川謙(おがわ ゆずる)です。

専門看護師とは、困難で複雑な問題を抱えた患者さんや家族、地域等に対し、より質の高い看護を提供するために頑張る看護師のことです。対象は患者さんやその家族はもちろんですが、健康問題を抱える患者さんに対応する看護師の皆さんも含まれます。自分は「急性・重症患者看護専門看護師」として、突然に発症したり急激に悪化していく急性期や、生命の危機的な状態にあるクリティカルケア期の患者さんやその家族と多く関わってきました。急性期やクリティカルケア期と聞けば、集中治療室や救命救急センターなどをイメージされるかもしれませんのが、病棟に入院している患者さんや、慢性期や終末期にある患者さんの急性増悪も急性期やクリティカルケア期ととらえることができますし、日常を健康に暮らしている方に突然に起こる疾患や事故、怪我なども急性期やクリティカルケア期ととらえることができます。

専門看護師の役割は、実践、相談、調整、倫理調整、研究、教育と多岐にわたります。長年の看護師としての経験や専門看護師としての学びは、皆さんがちょっと困った…と思ったときのお手伝いに役立てることができます。考えがまとまっているなくてもいいので、患者さんのケアやスタッフ教育等でお悩みの際はご一報ください。よろしくお願いします。

# 研修医発表会報告

JCHO北海道病院の初期臨床研修プログラムの一環として、年に2回臨床研修医発表会を実施しています。

9月13日に今年度1回目の研修医発表会が行われ、1年目研修医6名と2年目研修医2名が症例を発表しました。なお、2年目の3名は他病院で研修中のため、別日に発表しています。

感染対策のためハイブリッド開催（ZOOM視聴および講堂での聴講）となりましたが、指導医の先生から多数の質問が飛び交い、活発な発表会となりました。

## 研修医の発表レポート

臨床研修医（2年目） 堀中 誠一

### チオラによる薬剤誘発性天疱瘡を発症したと思われる一例

私は2021年9月の研修医発表会において、チオラによる薬剤誘発性天疱瘡を発症したと思われる一例について発表しました。症例は69歳男性、2021年5月頃より全身に搔痒感を伴う鶏卵大の紅斑を認め、次第に増悪し手掌や背部に水疱を認めるようになつたため前医受診し、6/25当院に診断・治療目的で当院皮膚科を紹介された方で、既往歴は高血圧・高脂血症、家族歴特記事項なし、生活歴はアレルギーなく、アダラートCR、アジルバ、プラバスタチン、チオラを内服されていました。身体所見は皮膚症状以外に特記事項を認めず、皮膚症状は背部に15mm大までの鱗屑・浸出液を伴つた紅斑局面を認め、セロテープ状に剥離していました。左手・両足底等に環状紅斑・びらん・浸出液を認め、左手首には弛緩性の破れた水疱を認めました。口腔内には病変を認めませんでした。所見から落葉状天疱瘡が疑われ、また内服しているチオラで10例ほど薬剤性天疱瘡の報告があったことから、採血で抗体確認後チオラに対するDLST試験を施行することとしました。またチオラは内服中断とし、アレロック・外用ステロイド剤処方し、一週後に再度外来受診としました。特記すべき検査所見としては、血液検査ではWBC6260/ $\mu$ L、分画で好酸球10.4%、CRP0.84を認めました。

また抗Dsg1 抗体630U/mlを認め、落葉状天疱瘡に矛盾しない結果でした。7/2の外来受診時、病変は消退傾向がありました。落葉状天疱瘡の確定診断目的に皮膚生検施行し、またチオラに対するDLST試験施行しました。また治療としてPSL20mgの内服を開始しました。皮膚生検では炎症細胞浸潤を伴う表皮上層角質層下の棘融解を認め、落葉状天疱瘡に矛盾しない所見でした。DLST試験ではPHA刺激値81516cpm、最大SI1.74を認め、陽性と取ってよい所見と思われました。その後はステロイドの外用及び内服を徐々に減量しながら使用し、8/20には抗Dsg1抗体の正常値までの回復、および病変の消失を認め、治療終了といたしました。

考察として、今回の薬剤誘発性天疱瘡の原因となったチオプロニンはSH基およびアミド結合を持つこと、他の薬剤誘発性天疱瘡の原因薬剤においてもSH基およびアミド結合が薬剤誘発性天疱瘡を誘発する原因であること、および具体的な薬剤名を挙げ、また薬剤誘発性天疱瘡の治療・発症までの期間について述べました。薬剤誘発性天疱瘡の原因薬剤はチオプロニン、D-ペニシラミン、カプトプリル、エナラプリル、リファンピシン、ピラゾロン誘導体(アンチピリン、アミノピリン等)などがありますが、これらはいずれもSH基もしくはアミド結合、あるいはその両方を有します。SH基が天疱瘡を誘発する際の機序として、表皮角化細胞がSH基を多く持つため、これが薬剤のSH基とS-S結合することで天疱瘡の抗原として働き、抗体産生を誘導すると考えられ、またアミド結合もSH基と同様に天疱瘡様病変を誘発するうえで重要な役割を担っていることを示唆していると考えられています。治療は原因薬剤の中止およびステロイド投与が中心となり、原因薬剤の中止により速やかに軽快することが多いが、中止後も病勢の持続するものもあり、治療は通常の天疱瘡と同様に、ステロイド内服と外用療法を併用します。発症までの期間は、原因薬剤が投与されてすぐ発症するものもあるが、長いもので発症まで数年に及ぶことがあり、発症にはアレルギー作用のみならず薬剤蓄積作用も関与していると考えられています。本症例も発症まで半年以上チオラを内服しており、チオラ内服中止とステロイドによる治療で治癒した一例でありました。



# 新型コロナワクチンの 当院における対応について

医事課長 田中 正樹

当院のコロナワクチン接種は、ファイザー社製を使用し、今年6月14日から接種を開始し、10月末時点で延11,181回（およそ5,600人）実施しました。

まずは予約を開始するにあたり、当時既に予約を開始していた他施設では、専用回線を複数設置したにもかかわらず、処理しきれずに代表電話への問い合わせが殺到したことにより、電話機能が麻痺し、急患の問い合わせ等の影響が出ているとの情報や報道もあり、当院では様々な予約方法を検討した結果「ラインシステム」を採用しました。「ラインシステム」のメリットは、電話の混乱を避けることができること、1日で数百人の予約を処理できること、24時間対応できること、接種希望者が予約の空きの状況を確認したうえで入力できること、予約後に日程変更が自由にできること、予約した内容が携帯電話の履歴に残るため齟齬が生じないこと、2回目の予約を同時にできること等が挙げられます。

当院では、できるだけたくさんのかかりつけ患者への接種を実施するため、医師、薬剤師、看護師、事務スタッフ総動員で、平日は毎日14時から15時半まで、土曜日は救急当番日を除いた午前9時半から11時半まで実施し、平日は最大175名、土曜日は最大210名の接種を実施しました。

当該ワクチンは専用フリーザーから取り出し、注射器への接種準備作業後6時間以内に接種をしなければ廃棄となります。急なキャンセルが発生した場合には、当院入院患者や併設の老人保健施設入所者へ接種したり、対象者がいなければ、別日の予約患者へ連絡をとり前倒しで来院していただいたりと、そんな努力の結果、廃棄を出すことなく現在に至っております。

ワクチン接種率の向上や感染者数の減少も影響があるのか、10月に入り予約数が急に減少しました。そのため、当院では11月末にて1回目、2回目の接種を終了いたしました。今後は、3回目接種に向けての準備を進めてまいります。



# いいね!お待ちしています SNS更新中です!

最新情報をいち早くお届けします!



病院  
公式

@jcho\_hokkaido

イベント情報や研修のようすを  
投稿しています!



産婦人科  
公式  
@jcho\_hokkaido.  
maternity



赤ちゃんの写真に  
癒されます♪



JCHO北海道  
公式チャンネル

@YouTubeで  
「JCHO北海道病院」と検索!  
健康にまつわる職員の講演などを  
投稿しています。



◆今号の一枚◆  
～表紙写真紹介～

息子が小学校一年生の時に作成した巣箱  
に4年連続で春に来ます。10個くらい卵を産  
んで3週間ほどで巣立ちします。  
シジュウカラは単語を組み合わせ文章を  
作ることができる唯一の動物と言われてい  
ます。毎年春はシジュウカラの会話を楽し  
みに聞いています。

撮影者:大石 さつき(外来看護師)

## 災害救急指定日

〈令和3年〉 11/30(火)、12/17(金)、12/31(金)

〈令和4年〉 1/8(土)、1/27(木)、2/12(土)、2/24(木)、3/8(火)、3/18(金)

※災害救急指定日は、やむを得ぬ事情により変更する場合があります。毎日の新聞紙等でご確認ください。

## JCHO北海道病院 各科外来診療担当医師

診療科	午前・午後	月	火	水	木	金
総合診療救急科	午前・午後	内科系	北尾 直之 田中 智之(午後)	志田 玄貴 南 秀明(午後)	前田 由起子 秋山 由樹(午後)	前田 由起子 秋山 由樹(午後)
		外科系	数井 啓蔵 庄野／酒井／岩崎(交代診療)(午後)	正村 裕紀 岩崎 美憲(午後)	正村 裕紀 庄野／酒井／岩崎(交代診療)(午後)	数井 啓蔵 酒井 俊彦(午後)
	午 前		高橋 将成	本居 美羽	井上 直樹	高橋 将成
	午後(診療13:00~)					木村 銀河 木村 銀河
心臓血管外科	午 前			吉田 俊人		
呼吸器内科	午 前	1診 2診	若園 順康 水島 亜玲	原田 敏之 谷口 菜津子	長井 桂 水島 亜玲	若園 順康 長井 桂
	午 前	1診 2診 3診(予約)	古家 乾 馬場 英 野口 卓郎[化学療法]	斎藤 里佳 定岡 邦昌 合田 智宏[化学療法]	古家 乾 馬場 英 竹内 啓[化学療法]	森川 賢一 定岡 邦昌 細田 峻一
消化器内科	午後(診療14:00~)	坂本 直哉(予約)				馬場 英
	午 前		山本 準也		関 真秀	山本 準也
腎臓内科	午 前(予約)		志田 玄貴	浄土 智		関 真秀
糖尿病・内分泌内科	午 前	1診 2診		北尾 直之		北尾 直之
	午後(予約)	1診 2診	牧野 圭祐(13:30~)	國崎 哲	牧野 圭祐	國崎 哲
	午後(14:00~)			北尾 直之(14:00~)		北尾 直之(14:00~)
	午後(14:00~)			國崎 哲(14:00~)	國崎 哲(14:00~)	國崎 哲(14:00~)
内科	午 前	1診 2診		大江 真司(予約) 前田 由起子	竹内 正	大江 真司(予約)
	午 前	1診 2診 3診	板倉 治 椿 淳子	板倉 治 椿 淳子	板倉 治 椿 淳子	伏屋 菜穂 椿 淳子
小児科	午 前				那須 敬 [新生児フォローアップ]	澤田 博行
						椿 淳子
						中久保 佐千子(9:00~) [神経](月2回)
	午後(診療13:30~)	一般	板倉 治	板倉 治	乳児健診(予約)	加藤 はるか
		慢性外来(予約) ・その他	澤田 博行 [慢性・発達]	椿 淳子 [内分泌]	伏屋 菜穂 [喘息・アレルギー]	中島 泰志 [腎臓]
					予防接種[予約なし] (受付時間12:30~14:30)	中久保 [神経](月2回) ／永井[循環器](月2回)
		新生児 フォローアップ	伏屋／恩田 哲雄	那須 敬	那須 敬	1カ月健診(予約) [産婦人科外来]
整形外科	午 前	1診 2診 3診	庄野 泰弘 酒井 俊彦(10:00~) 岩崎 美憲	庄野 泰弘 酒井 俊彦 寺島 理代	遠藤 健(第1・3週) 酒井 俊彦 岩崎 美憲	寺島 理代
	午 前	一般 予約	植木 伸也 乳がん検診	数井 啓蔵 乳がん検診	正村 裕紀 乳がん検診	坂本 譲
	午後(診療14:00~)	一般 （乳腺外来予約）		出張医(第1・3週)		乳がん検診
泌尿器科	午 前	1診 2診	高柳 明夫 幸前 和(11:00~)	高柳 明夫 幸前 和	高柳 明夫 幸前 和(11:00~)	出張医
	午後(診療13:30~)		高柳 明夫		高柳 明夫	
産婦人科	午 前	1診 2診 3診	山田 俊 小野寺 康全 山村 満恵(初診)	佐々木 瑞恵 小山 貴弘 小田 泰也(初診)	小田 泰也 金川 明功 山村 満恵	金川 明功
		1診 2診 3診	山村 満恵 交代診療(初診) 助産師外来	佐々木 瑞恵 小野寺 康全(初診) 助産師外来	佐々木 瑞恵(初診) 山村 満恵(初診)	小山 貴弘(初診)
		午後(診療14:00~)			山田 俊	
	午 前	1診 2診	藤尾 直樹 高橋 智恵	藤尾 直樹(予約) 高橋 智恵	藤尾 直樹	藤尾 直樹
		午後(診療14:00~)				高橋 智恵
耳鼻咽喉科	午 前	1診 2診	藤原 智貴 太田 亮[予約なし]	藤原 智貴 太田 亮	交代診療	藤原 智貴
	午後(診療14:00~)	1診 2診		藤原 智貴 太田 亮		太田 亮
	午 前	1診 2診	遠藤 元宏 佐々木 洋	遠藤 元宏 佐々木 洋	遠藤 元宏 佐々木 洋	遠藤 元宏
	午後(診療14:00~)	1診	遠藤 元宏	佐々木 洋		遠藤／佐々木(交代診療)
麻酔科(ペインクリニック予約)	午 前		実藤 洋一		神田 知枝	笠井 裕子
放射線診断科	午 前		杉浦 充		杉浦 充	
禁煙外来(予約)	午後(診療13:30~)		長井 桂		原田 敏之	

《午前の受付時間》8:00~11:00(診療開始8:45~) 《午後の受付時間》12:30~15:30(診療開始は各診療欄をご覧ください)

担当医師、診療時間について変更になる場合がございます。

病院代表電話 : 011-831-5151 予約変更直通 : 011-831-5489(平日 9:00~16:00)

## JCHO北海道病院

〒062-8618 札幌市豊平区中の島1条8丁目3-18  
TEL 011-831-5151(病院代表)URL <http://hokkaido.jcho.go.jp>[f <https://www.facebook.com/jchohok>](https://www.facebook.com/jchohok)

(医療機関専用 : 総合支援センター直通)

TEL 0120-515-830 FAX 011-815-1005

↑ QRコード読み込みで  
病院ホームページへ